



独立行政法人 国立病院機構

# 村山医療センターニュース

## 理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

## 基本方針

患者さんの権利と意思を尊重します。  
安全で優しいチーム医療を提供します。  
倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。  
地域医療連携の促進を図ります。  
骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。  
職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

令和元年 特別号

発行責任者 院長 朝妻 孝仁

## 新病棟開設のご挨拶

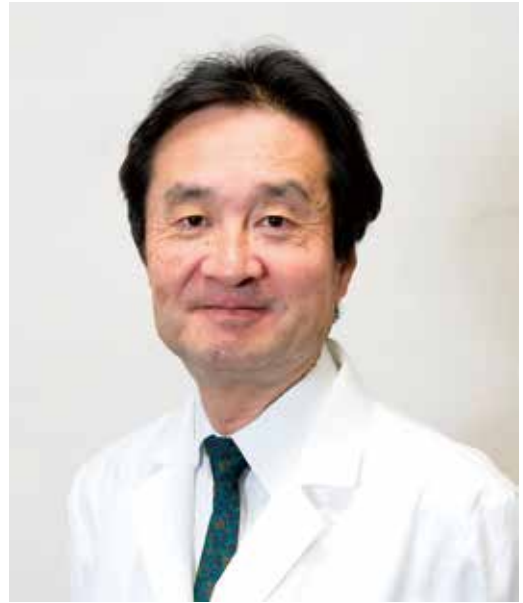
院長 朝妻 孝仁

かねてより建設中の新病棟が本年3月8日に完成し、3月21日には入院中の患者さんが旧病棟から無事に引っ越ししました。当日は255名の患者さんが入院していましたが、午前8時半頃より職員が総出で引っ越し作業を行なった結果、予定より早く、11時過ぎには引っ越しを完了しました。入院中の患者の皆様には多大なるご協力頂いたことをこの場を借りて、御礼申し上げます。

さて新病棟の構成は地上6階建てで、総病床数は従来と変わらず303床です。1階（第1病棟）は回復期リハビリ病棟、2階（第2病棟）が骨運動器疾患病棟、3階（第3病棟）が地域包括ケア病棟で、4階から6階（第4～6病棟）が一般病棟です。第6病棟にはHCU4床を併設しています。

新病棟の特徴は脊髄損傷や脳血管障害の患者さんが、快適にリハビリテーションを行うことができるように配慮した点です。すなわち車椅子、あるいは歩行器での移動がスムーズに行えるよう、廊下の幅を従来の2.5mから4.7mと大幅に広げ、トイレ、浴室、およびベッド周囲にも十分なスペースがあるように設計しました。また、主に脊髄損傷の患者さんが入院する第2病棟の4人床には各病室に特別な空調装置を設置し、快適な入院生活を送っていただけるよう工夫しました。個室の数も従来は19室であったのに対して、新病棟では63室と大幅に増やしました。

各階のデイルームは多くの患者さん、ご家族がくつろげるように十分な空間を確保しました。特に、回復期リハビリ病棟（第1病棟）のデイルームは最も広く、すべての患者さんが車椅子で集まり、食事を摂ることが可能です。







さらに1階には収容人員140名の地域医療研修室が完成しましたので、各種セミナー等の開催が可能となります。当院では毎年、10月に市民総合センターで“市民公開講座”を開催し、市民の皆様にご参加いただきましたが、本年からは当院の地域医療研修室での開催が可能となります。

当院は1941年に開設以来、骨運動器疾患、すなわち整形外科、およびリハビリテーション科を中心として診療を行ってきました。手術件数が全国で1,2位を誇っている脊椎・脊髄外科に加えて、最近では下肢関節（膝関節、股関節）、および上肢（手、肘関節）の分野でも実績を伸ばしています。骨運動器疾患では準ナショナルセンター的な当院に相応しい病棟ができたこと、自負しています。

新病棟完成を期に、「患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。」という理念のもと、診療内容の充実、サービス向上に向けて、職員一同、さらに努力していきたいと思います。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



## 新病棟移転の挨拶

看護部長 佐藤 千春

2019年3月21日に念願の新病棟に引っ越しをし、新体制がスタートしました。大きな変化としては、病床構成の変化があります。障害者病棟の7病棟40床・8病棟40床が一つに統合され、60床の「骨運動器疾患病棟」になり、回復期リハビリテーション病棟は40床から50床へ、地域包括ケア病棟も44床から50床に増床しました。

構造としては、リハビリテーション療法が主となる回復期リハビリテーション病棟・骨運動器疾患病棟・地域包括ケア病棟は、移動がしやすいように1階から3階の低層階に、手術を主に行う病棟は4階から6階の高層階に配置されています。周囲に大きな建物が無いという好環境のため、眺望がすばらしく、高層階からは富士山を拝むこともできます。

新病棟のコンセプトは、『快適な療養環境の提供とプライバシーの重視』です。それは、車いすの人でもゆったりとすれ違うことのできる広い廊下、歩行器や車いすなどを使用してもぶつからない部屋面積を確保しました。そのため、3～4人並んで短距離走ができるのではないかと思います。程の、広く長い廊下が出来上がりました。プライバシーの保護では、手術後でも安楽に療養ができる環境の提供として、個室が19床から63床に増えました。



新病棟は、看護師にとっても快適な職場環境となりました。自然と笑顔も増えています。今までは、引っ越し準備に多くの時間を費やしてきましたが、本年度はもう一度原点に立ち戻って、村山医療センターの看護を見直したいと思います。「私たちは国立病院機構村山医療センターの理念に則り、専門性を発揮した看護を提供します」という看護部の理念に沿った看護ができているのか、専門性の高い看護とは何かを考え、実践していきます。患者さんの求めているものは何かを明確にしながら、その状況にあった適切な看護が提供されて初めて、『新しい病棟になってよかった』と評価されるのではないかと思います。素晴らしい環境ができたのに…というお声をいただかないよう、患者さんの声をよく聞き、患者さんの気持ちに寄り添った看護を提供していきたいと思っています。



## 新病棟に込めた想い

リハビリテーションセンター長 植村 修

おおよそ人の活動を考える時、その人がいるべき場所というものが必ずあります。生徒であるなら学校がその場所であるでしょうし、働いている人なら職場がそうでしょう。そして何より、どういった人々であれ生活をする場所というものはあるはずです。

この世界には老若男女様々な方がいらっしゃいますが、医療機関がお付き合いするのは、当たり前ではありますが疾患を抱えた方々です。特に我々村山医療センターリハビリテーション科では、疾患の治療が落ち着き、しかし残念ながら心身の状態が生活をする場に戻るに十分ではない方々に対して、心身の改善のみならずその方々が暮らす環境などにも配慮したりリハビリテーション治療を行なっております。診療に際しては常に良質であることを心がけてきましたが、私は赴任してからの期間、ずっと不満に思っていたことがありました。それは、患者さんが過ごさざるを得ない生活の場としての病棟が、そもそも生活の場として構築されていないことです。

リハビリテーションでの入院生活では、起床後まず寝間着から運動しやすい服装に着替え、朝の整容を行い、食事を摂り、リハビリテーションをし、などなど普段の生活を意識したサイクルを送ります。多くの患者さんが急性期治療の際にはそうできないため、これは再び適応するという意味を持つリハビリテーションの基本とも言えます。では実際に病棟を覗いてみるとどうでしょう？確かに患者さんたちはその人なりの活動度に応じて、歩く人、車椅子に座る人などなどいらっしゃいます。しかし、食事時にはほぼ全ての方が“ベッドに戻って”食事をしていました。実生活においてベッドで食事を召し上がる方はどれくらいいらっしゃるのでしょうか？私は典型的な日本人なので、そんな人は映画の中でしか見たことがありません。衣食住は生活の基本ですが、揃ってればいいわけではなく、それらがしかるべき形で行なわれていることこそが大事だと私は思います。リハビリテーション病棟において食事をベッドで摂っている事実は、リハビリテーション医療の理念と必ずしも一致するとは言えないように思います。

村山医療センターはこの春に念願の新棟へ移転しました。新しい回復期病棟ではとても広いダイルームを頂きました。そこでは患者さんが、経管栄養も含めて全員揃って食事を摂ります。

明るい日差しに包まれたダイルームで、皆がしかるべき場所へ戻る第一歩として、まずは食事の当たり前から始められるように。そんな想いを込めた新病棟で、皆で良質な医療を提供して参りたいと思います。



## 竣工記念式典

平成31年3月16日、病棟の竣工を記念して式典を開催しました。

武蔵村山市長をはじめ武蔵村山市医師会長、慶應義塾大学医学部整形外科学教室松本守雄教授など多くの方々にご来賓いただき誠に感謝いたしております。



日本せきずい基金 大濱眞様

## 新病棟への引越

平成31年3月21日、無事に引越を終えました。

この作業には、職員のみならず、患者さんやその家族ならびに関係各位の皆様のご協力があったのもでした。この場をお借りして皆様にご感謝申し上げます。誠にありがとうございました。





# 病室の紹介

## A個室



設備  
スライドソファ（簡易ベッドになります）、  
チェア付デスク、ワードローブ、チェスト、大  
型テレビ、冷蔵庫、シャワー、トイレ（ウォシ  
ュレット）、洗面台

## B個室



設備  
応接セット（椅子2脚、テーブル1台）、ワ  
ードローブ、冷蔵庫、トイレ（ウォシュレ  
ット）、洗面台

## C個室



設備  
テーブル、木製チェア、ワードローブ、洗面台

## 4人床



## 個室料金表

	A個室	B個室	C個室
	第3～第6病棟 各1室	第3～第6病棟 各2室	第1病棟 6室 第2病棟 8室 第3病棟 11室 第4病棟 9室 第5病棟 9室 第6病棟 8室
1日の料金（税込）	16,200円	10,800円	5,400円
シャワー	○		
スライドソファ（簡易ベッド）	○		
チェア付デスク	○		
大型テレビ	○		
チェスト（整理だんす）	○		
冷蔵庫	○	○	
トイレ（ウォシュレット）	○	○	
ワードローブ（洋服だんす）	○	○	○
洗面台	○	○	○
応接セット		○	
テーブル			○
木製チェア			○
テレビ床頭台		○	○



建て替えによって個室の  
数が増えました。

広くて明るいお部屋です。

たくさんの方にご利用  
いただきたいと思います。